

第2次 新潟市環境基本計画(H19～H26)

目指す都市像

施策の目標

施策の方向

市民とともに創る新潟環境ふれあい都市

協働と学習で拓く環境未来

Ⅰ 自然と人間とが共生する田園ふれあい都市の形成

Ⅱ 環境への負荷の少ない資源循環都市の形成

Ⅲ 健康で安心な快適環境都市の形成

Ⅳ 地球環境に貢献する都市の形成

(1)環境ひとづくり

(2)市民との協働

(3)ユニバーサルデザインの推進

(1)白鳥の飛び交う水と緑のネットワークづくり

(2)都市と田園のふれあいづくり

(3)水辺のにぎわいづくり

(4)みどりの街並みの形成

(1)廃棄物の減量・リサイクルの推進

(2)資源循環の推進

(3)環境にやさしい農業の推進

(1)環境負荷の抑制

(2)良好な景観の形成

(3)歴史・文化遺産の継承と活用

(4)減災社会の実現

(5)環境保全のための事前配慮の推進

(1)地球温暖化対策

(2)国際協力の推進

次期計画への展開

- 市民アンケートの結果
- 現時点での環境課題への評価
- 新たに策定、改定された法律や行政計画

・環境教育の優先度高い
・市民、市民団体の活動拡大が課題
・「**環境教育促進法**」(H24.10制定)
(環境教育に関する自治体の取り組みの具体化が努力義務とされる)

・「**新潟市ユニバーサルデザイン推進行動計画**」(H22～26)

・身近な自然環境への満足度高い
・市民が自然に親しむ機会の充実が課題
・「**にいがた命のつながりプラン～新潟市生物多様性地域計画～**」(H25～)
(本市の生物多様性の保全と持続可能な利用に配慮した施策の方向性を示す)

・市民のごみの分別、3R活動は定着
・さらなる意識の向上、新たな資源化策の検討が課題
・「**新潟市ごみ減量プログラム**」(H24～31)
(廃棄物行政における長期的・総合的な指針を示す)

・大気汚染問題への関心が高い
・公害のないまちを望ましい将来像とする市民が多い
・PM2.5など新たな環境基準項目への対応
・基準未達成項目への対応、原因究明が課題

・地球温暖化、エネルギー問題への関心度高い
・運輸、家庭部門への対策が課題
・「**新潟市スマートエネルギー推進計画**」(H24～26)
・「**新潟市地球温暖化対策実行計画ー環境モデル都市アクションプランー**」(H25～30)
(環境モデル都市の選定を受け、低炭素都市づくりの具体的取組を示す)

第3次 新潟市環境基本計画(H27～H34)

施策の方向

施策の目標
(視点)

目指す都市像

(1)環境ひとづくり

(2)市民との協働

(3)国際協力の推進

(1)在来の動植物の生息・生育環境の保全・再生

(2)自然環境の持続可能な利用の推進

(1)家庭系ごみを減らす3R運動の推進と三者協働

(2)事業系ごみの排出抑制と資源化の推進

(3)違反ごみ対策ときれいなまちづくりの推進

(4)収集・処理体制の整備

(1)環境負荷の抑制

(2)良好な景観の形成

(3)歴史・文化遺産の継承と活用

(4)減災社会の実現

(5)環境保全のための事前配慮の推進

(1)低炭素型ライフスタイルへの転換

(2)低炭素型交通への転換

(3)「スマートエネルギーシティ」の実現

(すべての土台)
環境教育と協働の推進

③生物多様性の保全

②循環型社会の創造

④快適な生活環境の保全

①低炭素社会の創造

田園と都市が織りなす、環境健康都市